

学校名：江戸川区立二之江第三小学校

活動名：身近な川「新川」を知り、川と海のつながりを調べる

教科：総合的な学習の時間ならびに理科

学年：5年生

■実施日：2017年7月4日（火）・7月7日（金）

7月4日：8：30～14：50（1～6時間目）／7日：8：45～14：00（1時間目～5時間）

■実施場所：葛西海浜公園西なぎさおよび学校（7月4日）、新川および学校（7月7日）

■活動の狙い

身近な川である新川について学び、江戸川・荒川とその両河川が海とどうつながっているのかを明らかにすることで海と川と生態系の連続性を学ぶ機会とする。同時に、川の源流についてはその源である山の生態系なども講義にて提供する。

昨年度との大きな違いとして以下。一番身近な川である新川について学び、江戸川・荒川とその両河川が海とどうつながっているのかを明らかにすることで海と川と生態系の連続性を学ぶ機会とする。同時に、川の源流についてはその源である山の生態系なども講義にて提供する。

■実施内容

- ① 葛西臨海公園の西なぎさにいる生きものを観察を通して知る。
- ② 川と海がつながっていることを地質的に知る。
- ③ 学校の目の前を流れる運河である新川での観察から川でくらす生きものを知る。
- ④ 生きものや塩分濃度から川と海のちがう点や同じ点を考える。
- ⑤ 川と海の相違点について、自分なりの考えをまとめて新聞を作成する。



葛西臨海公園での活動風景（左）



新川での活動風景（右）

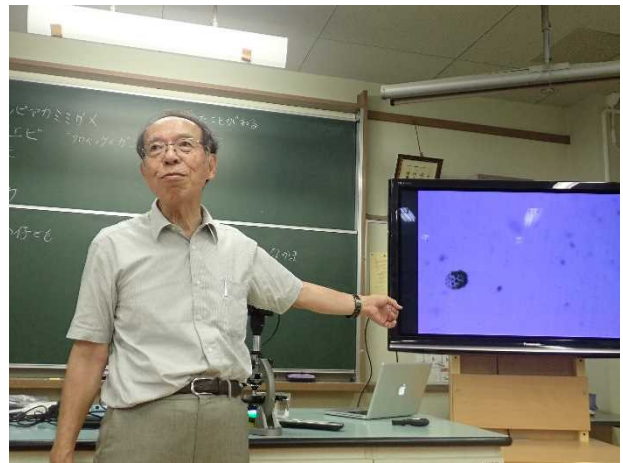
■地域との連携

実施にあたり葛西臨海公園を拠点として活動する一般社団法人 葛西臨海・環境教育フォーラムとの連携にて推進することで、同フォーラムに参加する大学教員や環境教育の専門家による指導を得ることができた。

同時に、葛西臨海公園を管理する公益財団法人東京都公園協会から後援名義をいただくことで、海浜でのプログラム実施に際して円滑な協力をいただくことができた。



風呂利夫先生（東邦大学名誉教授）



石丸隆先生（東京海洋大学名誉教授）

■成果

事前と事後でアンケートをとった。結果は以下の通り。

・分析1 海への来訪意欲

事前アンケート問3「海に行ってみたいですか」

事後アンケート問1「また海に行ってみたいですか」を比較する。

【結果】プログラムの前後で間違いなく海への来訪意向は増加している。

・分析2 川への来訪意欲

事前アンケート問4「川に行ってみたいですか」

事後アンケート問2「また川に行ってみたいですか」を比較。

【結果】残念ながら川への来訪意欲は減ってしまった。川では生物観察を行い、実際に川には生物がたくさん居ることを確認しているのに来訪意向が低下した点は改めて課題として浮き彫りになった。

・分析3：海や川への理解

事後アンケートの設問3で「海や川について知りたかったことはわかりましたか」と聞いている。「よくわかった」「少しわかった」「あまりわからなかった」「わからなかった」の4択とし、それぞれ4・3・2・1点を配点した結果を加重平均した。

【結果】5年1組3.71、2組3.83となった。「あまりわからない」「わからない」を選択した児童がいないことから、海や川についての知識については、授業の前後ですべての児童において増加したといえる。

■課題

川への来訪意欲が減じた点。川では生物観察を行い、川には生物がたくさん居ることを確認しているのに来訪意向が低下した点は改めて課題として浮き彫りになった。

学校名：江戸川区立二之江第三小学校

活動名：身近な川「新川」を知り、川と海のつながりを調べる

教科：総合的な学習の時間ならびに理科

学年：5年生

【主な連携機関と内容】

- ・一般社団法人 葛西臨海・環境教育フォーラム：
大学教員や環境教育の専門家による指導
- ・公益財団法人東京都公園：協会海浜でのプログラム
実施に際して円滑な協力
- ・江戸川区役所土木課

【実践のねらい】

身近な川である新川について学び、江戸川・荒川とその両河川が海とどうつながっているのかを明らかにすることで海と川と生態系の連続性を学ぶ機会とする。同時に、川の源流についてはその源である山の生態系なども理解する。自分たちが住んでいる地域の新川を中心にして、様々なことに関心を持ち、「新川調査隊」として、自ら課題意識をもって学習し、地域を愛する児童を育成する。

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|----|--|----|---|----|---|-----|-----|-----|----|----|----|
| 体験的な活動 | | | | 『身近な川「新川」を知り、川と海のつながりを調べる』 ・葛西臨海公園の西なぎさにいる生きものの観察をする ・新川の生き物やプランクトンを観察し、海と川のプランクトンを顕微鏡で調べる（4）理科 | | 『新川調査隊』総合的な学習の時間 ・新川で釣りをする（2） ・新川を和船に乗って、川の中から町を見る（2） ・新川沿いを歩き、川岸のごみや川沿いの遊歩道のごみ拾いをして、話を聞く（3） | | | | | | |
| 探究的な活動 | | ・東京湾にすぐの旧江戸川につながる場所から新川沿いを歩き、疑問を探す（2） 総合的な学習の時間 | | ・川と海がつながっていることを地質的に知る（2）理科 葛西臨海公園の生きものや塩分濃度から川と海のちがう点や同じ点を考える（4）総合 | | ・新川の江戸時代の働きを調べる（2） ・区役所の方から新川岸工事を伴う景観づくり、川と暮らしのめざすところの話を聞く（1） ・さらに疑問に思ったことを考え、調べていく（6） | | | | | | |

| | | | | | | | |
|------|--|--|---|--|--|---|--|
| 表現活動 | | | <p>・川と海の相違点について、自分なりの考えをまとめて交流し、班ごとに壁新聞にまとめる</p> <p>(1) 総合的な学習の時間</p> | | <p>・新川について調べて分かったことを各自ワークシートにまとめ、交流する (7) 総合</p> | <p>・これからの新川についての意見文を書き、江戸川区役所へ届ける</p> <p>(3) 国語</p> | <p>・各班の壁新聞を活動の様子がわかる写真と共に空き教室に掲示。他学年や保護者へ、学校公開、保護者会の際などに見せる。</p> |
|------|--|--|---|--|--|---|--|